



特集記事

「最近の医薬行政について」

厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 化粧品専門官 藤本貴大氏

巻頭言

理事長

田尾大介

令和7年度薬事説明会報告

「最近の広告に関する景品表示法や広告適性基準における留意点」

(演者 公益社団法人 日本広告審査機構 倉本仁美氏)

講演報告

タカラベルモント株式会社

武鹿直樹

技術委員会報告

技術委員長

田島洋一

MGK 便り

事務局だより

編集後記



## 巻頭言

日本パーマメントウェーブ液工業組合  
理事長 田尾大介

日頃は当組合活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

近年続くコスト上昇を背景に、値上げや賃上げの動きが見られるなど、市場環境は大きな転換期を迎えています。

理美容業界においてもさまざまな努力が重ねられていますが、持続的な経営を見据えた適正な価格改定は、なお道半ばにあると認識しています。

本年は、SNSを起点とした美容トレンドの変化がさらに加速する年になると考えています。特に韓国発のヘアメイク表現は、広く定着しています。女性ではロング～セミロングのゆるふわウェーブやレイヤーと組み合わせたカール表現、男性ではセンターパートにソフトなウェーブを加えた韓国風スタイルや、マッシュウルフを基調とした緩やかなスパイラルパーマが人気を集めています。SNSでの発信・拡散と連動し、パーマによるデザインや質感表現、スタイル提案の多様化を促しています。

こうした動向を踏まえ、引き続き価格と満足度を両立する高付加価値なパーマ提案が理美容室経営の収益基盤となるよう、情報発信と環境整備に取り組んでまいります。

次に当組合で集計している出荷統計に目を向けますと、パーマ市場の回復基調を数字の面からも確認することができます。

令和2年（2020年）の出荷金額は約69億円でしたが、令和5年（2023年）には83億円まで回復しました。令和6年（2024年）は僅かに減少しましたが、令和7年（2025年）の出荷金額は約85億円、昨年対比は再び増加に転じ、約104%（出荷数量は約101%）でした。

この増加要因の一つとして、ストレートパーマ（縮毛矯正を含む）の年間利用率の上昇が挙げられます。NBBA サロンユーザー調査によると、令和6年の14.5%から令和7年には15.4%へと増加しており、特定の世代に限らず幅広い層で利用が広がった結果と考えられます。髪質改善メニューのブームは落ち着きつつも定着し、ツヤやまとまりを重視したストレート需要が、パーマ剤出荷を下支えしている状況です。

こうしたニーズの多様化に対応するには、処方自由度を高めることが重要です。そこで、「使用可能な添加物の種類および配合量の増加」に向け、日本ヘアカラー工業会と「パーマメント・ウェーブ用剤添加物リスト」と「染毛剤添加物リスト」の統合および拡充について協働し、統合拡充した添加物リスト（案）を確定いたしました。

そして昨年末、確定したリスト（案）を厚生労働省に送付し確認を求め、現在も確認中となっております。引き続き日本ヘアカラー工業会と連携しながら、通知発出に向けて対応してまいります。

次に、当組合の新たな取り組みとして「令和7年度特定業務担当者会議」を開催しました。今回は研究開発業務および特許業務のご担当者を対象に、実務担当者セミナーとグループディスカッションを行いました。若手の参加者からは、業務に役立つ情報交換ができたとのことのご意見をいただきました。

さらに、例年実施している「薬事説明会」を令和7年11月13日に会場開催と配信を同時に行うハイブリッド形式で開催いたしました。「薬事業務初心者向けセミナー」はオンデマンド配信にて実施し、会員各社の研修等にご活用いただくなど、ご好評をいただきました。今後も、こうした会員サービスの充実に向けて検討を重ねてまいります。

あらためまして、昨年度も、セミナーの開催や薬事規制緩和に関する諸活動において、多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございました。運営に携わってくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。

皆さまのお力添えにより、大過なく各事業を進めることができました。

初開催となった特定業務担当者会議をはじめ、今後につながる取り組みを形にすることができたと考えております。

これまでの活動の積み重ねの上に、本組合は設立60周年を迎えました。これもひとえに、会員の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

また理事の皆様の積極的な運営参加が、消費者の安心と製造現場の合理化を後押ししてきましたことに、重ねて御礼申し上げます。

令和7年度総会では、その節目として60周年記念式典をあわせて執り行う予定です。

引き続き安全・安心の確保を最優先し、正確な情報提供と健全な市場環境づくりを通じて、パーマ市場の持続的な発展に貢献してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。